

2023年7月7日

株式会社パスコ
公益財団法人藤沢市まちづくり協会

(報道発表)

公園内の効率的な樹木調査を目指す実証実験を開始 - 3次元レーザースキャナを活用し公園管理のDXを推進 -

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）と、公益財団法人藤沢市まちづくり協会（所在：神奈川県藤沢市、以下：藤沢市まちづくり協会）は共同企業体を結成し、神奈川県藤沢市と公園管理の課題解決に向けた実証実験を開始します。

本実証実験では、森林資源判読調査で主に山間部で使用する3次元レーザースキャナを都市公園の樹木調査において利用可能かを検証し、公園管理のための効率的な計測方法や運用方法を検討します。本実証実験により、パスコ・藤沢市まちづくり協会の共同企業体および藤沢市は、都市公園における樹木調査（台帳）の整備・更新など公園管理の効率化を目指します。

■現状の課題と実証実験の背景

公園の防犯、安全、景観の維持には、植栽や樹木の管理が必要不可欠あり、実際に国内では、公園内での樹木の倒木による事故も発生しています。そのため、樹木の適正な維持管理が求められており、樹木ごとの樹種や幹周・樹高などを把握し、適正な剪定時期や手法を計画・実施する必要があります。

一方で、従来の人的な方法では、調査が困難な急斜面地の対応などに時間を要し、コストもかかるという課題があります。さらに、藤沢市が管理する公園では、樹木の本数が多く樹高や幹周などの現状把握が難しいという状況です。

こうした課題を解決するため、藤沢市が管理運営のデジタル化を推進することを目指して実施する、スマートシティ推進実証事業の一つとして、今回「3D スキャナカメラによる公園樹木の把握」をテーマとした実証実験を実施いたします。

■実証実験の概要

<実験内容>

- ① 地上型の3次元レーザースキャナで、公園内の樹木の3次元計測を行い、樹高・幹周を計測します。メジャーなどアナログ機器を用いた実測結果と照合し、3次元計測の有効性を検証します。
- ② 効率的な3次元計測の手法と運用手順などを検討します。



公園内での3次元レーザースキャナ計測イメージ

<対象公園>

大庭城址公園(神奈川県藤沢市)

<現地計測実施日>

2023年7月10日(月)

(予備日7月11日(火))



大庭城址公園内の樹木

<パスコの役割>

- ・計測業務(3次元レーザースキャナ計測、アナログ機器計測)と有効性の検証
- ・計測手法や運用手順の検討 など

<藤沢市まちづくり協会の役割>

- ・指定管理公園内での計測作業に伴う周辺住民との調整・安全管理
- ・樹種名の判定
- ・隣接地への越境・倒木などの危険度を判定
- ・剪定が必要な樹木の優先度を判定 など

(参考:藤沢市の報道発表)

スマートシティ推進に向けた実証事業を2件採択しました

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/dxs/press/documents/20230706smart.pdf>

■パスコについて

パスコは人工衛星や航空機・ドローン・専用車両・船舶など多彩なプラットフォームから3次元計測を実施する技術を有するとともに、自治体が管理する道路・公園・上下水道などインフラの台帳整備やGIS(地理情報システム)の構築、各種計画立案の支援を進めています。

■藤沢市まちづくり協会について

地域社会の健全な発展と市民の福祉の増進を目指し、魅力ある都市形成と豊かな地域社会の実現のための事業を行っています。その1つとして、藤沢市の指定管理者として公園や湘南台文化センターこども館など施設の運営管理業務を行っています。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

<https://www.pasco.co.jp/>

(報道機関)

広報部 press@pasco.co.jp

公益財団法人藤沢市まちづくり協会

<https://f-machikyo.or.jp/>

(報道機関)

事業課 公園・街路樹担当

kouen@f-machikyo.or.jp

プレスリリースの内容は発表時のものです